

Kobe Morning Rotary Club Weekly Report

2017-18

週報

例会 木曜 7:00-7:45 香港茶楼

TEL 078-392-0775

Email kmrc2680@gmail.com

ホームページ <http://www.kobe-morning.com/>

例会情報 <https://goo.gl/fnmR8H>

会長 安田幸司 幹事 門脇正英

今年度方針 「強いクラブになる！強いチームになる！」

Rotary
神戸モーニングRC



2018年4月5日（木） 第34回例会（通算76回）

「インドシフト ~バンガロールの魅力~」

門脇正英 会員

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いや輝きて
永久に榮えよ 我等のロータリー ロータリー

4/12 (木)	「健康講座 1 検診データの読み方」(堅田会員)	7:00 - 7:45	香港茶楼
4/14 (土)	京都モーニング RC25 周年例会 (安田会長、門脇幹事)	15:00 -	京都ホテルオークラ暁雲の間
4/19 (木)	「スイス高級時計のブランド力について」 Kamine Co. 片野元太氏	7:00 - 7:45	香港茶楼
4/22 (日)	神戸第2G 合同ゴルフコンペ (杉山会員、門脇会員、村上会員)	10:13 OUT/IN	垂水ゴルフ倶楽部
4/29 (日)	地区研修・協議会 (10名参加)	10:30-16:00	神戸ポートピアホテル

幹事報告

案内

地区補助金一般見学 (尼崎中 RC)

案内

6/15 感謝の集い (ポートピアホテル 8,000円)

週報

神戸第2グループ内クラブ、神戸 RC、神戸東灘 RC、神戸六甲 RC より



委員会報告

報告

4/4 ゴルフ同好会 (村上会員)

親睦

結婚記念日：村上英樹会員 (4月1日)

誕生日：原崇浩会員 (4月8日) 45歳、 簡智行会員 (4月10日) 46歳

前回例会報告 [3/22 (木)]

来訪者

福間則博様 (宝塚 RC)、永松潔和様 (神戸 RC)

出席

当日 76% (20/25名) 会員数 28名 (出席免除者 3名)

ニコニコ

福間則博様「本日卓話よろしくお願ひ致します。ギリギリ遅刻を回避できてホッとしております」

永松潔和様「福間委員長、卓話楽しみにしております」

安田会長「福間さん、卓話よろしくお願ひします。永松さんいつも例会参加ありがとうございます」

村上会員「福間先生、卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております」

会長の時間

皆さんおはようございます。今日卓話いただく福間さんは去年の職業奉仕セミナーでアーサーフレデリック シェルドンを中心としたセミナーだったのですが、最初から引き付けられる内容の濃い素晴らしいセミナーだったので、終わってすぐに福間さんに卓話をお願いしました。先週は黒川さんと私で会長エレクト研修セミナー (PETS) に参加してきました。通常半日ですが、今回は矢野ガバナーエレクトの覚悟を感じる丸一日のセミナーでした。そこで丸尾パストガバナーが 40分パワーポイントも使わず、何も見ず話をしていました。時々詰まる時は約 120人の視線が集まるのですが、それを挑戦してやりきる姿が素晴らしいと思いましたし、そのような方々が沢山おられて勉強になると毎回思います。今日もロータリーを楽しみましょう。よろしくお願ひします。

前回のプログラム：地区職業奉仕委員長 福間則博氏「道楽と職業」とロータリー

先般の地区職業奉仕セミナーにおいてはその終了直後に安田会長より卓話要請があり、こうしてお話をさせて頂きますことを大変光榮に思っております。さて、ロータリーの友1月号に元RI理事松宮剛氏が「職業奉仕について考える」を寄稿され、夏目漱石の講演「道楽と職業」をもとに職業奉仕が語られておりますが、これに関連して職業奉仕を考えてみたいと思います。

漱石は仕事には職業と道楽があるとし、職業は「他人のために」商品やサービスを提供して「自分のために」その対価を取得するものであり、それは「他人のため」であると同時に「自分のため」であるが、結局は他人が認めない限り仕事は成り立たないことから、「他人本位」であるとしております。これに対し、他人の意向に配慮する必要がないだけでなく、配慮してはならない仕事があるとし、これが道楽であり、具体的には哲学者・科学者・芸術家の仕事であり、「自己本位」でなければならないとしております。

漱石のいう「他人本位」は他人のご機嫌を取る程度のものであり、そこには何ら倫理的な要素はなく、例えば、一流の芸妓が漱石も持ち得ない高価な宝飾品を取得できるのは他人本位の結果であるとされます。他方、道楽における「自己本位」は、芸術家である漱石自身を卑下して述べられていますが、その内実は妥協なき真善美の追求です。

ところで、ロータリーにおける超我の奉仕は、自己の中に利己を超えて他人のために奉仕しようとする衝動(impulse)があるとする考えであり、このような自己の実現として仕事にとらえられるとすれば、その仕事は当然に他人への奉仕として倫理的なものになり、また、自己の内面の発露として主体的なものになるでしょう。漱石は、哲学・科学・芸術は、自己本位であるとしていますが、それらは人類の普遍的な真善美に到達しようとするものであり、むしろ人類全体という他人のための仕事とも言えるのではないのでしょうか。

ロータリーの超我の奉仕においては、他人への奉仕が自己の展開となり、ロータリーにおいて一切の職業は、哲学者・科学者・芸術家の仕事を含め、自己を超えて他人に奉仕しようという理想に向かって困難な道を楽しむ「道楽」であるととらえ得るのではないのでしょうか。脇濱さんのような美しいガイドではありませんでしたが、多少なりともガイドらしき仕事ができたとしたら幸甚であります。ご清聴ありがとうございました。



「次年度委員会構成」ならびに「地区研修・協議会（4/29）参加者一覧」

役職	氏名	4/29 参加（代理）
会長	黒川 良彦	○
幹事	山本 博一	○
クラブ管理運営	内井 ひろむ	(奥田 裕)
増強拡大	脇濱 恵	○
職業奉仕	堅田 真司	(佐々木 努)
社会奉仕	中村 勇樹雄	(富澤 拓弥)
国際奉仕	古賀 大輔	(門脇 正英)
青少年奉仕	村上 英樹	○
ロータリー財団	坪川 武司	(梅本 浩輔)
米山奨学	赤松 幸治	○

地区研修・協議会

4月29日（日・祝）10:30 - 16:00

73クラブから次年度会長・幹事・各委員長の10名ずつが集まります。

会場：ポートピアホテル

- ・ホールにて全体会議
- ・クラブごとの昼食
- ・各部屋で委員会別の分科会

※次年度ネクタイ・スカーフ着用